

寄島学園

寄島っ子の未来を考えるワークショップ part4 開催！！

令和4年8月23日、「寄島っ子の未来を考えるワークショップ part4」が開催されました。浅口市くらし安全課の前川満重参事が「寄島の災害」について説明して下さい、その後、岡山県教育事務所の木下史子総括参事の指導のもと「津波の避難経路」や「寄島の防災」について考えました。地域の方は寄島の土地や実態を本当によくご存じで、白熱した協議になりました。豊かな海や自然とともに生きる寄島、その半面、自然は怖い面も持ち合わせています。9割自然の恵を受けるなら、1割は防災に備えておくこと、「防災は、豊かな自然とともに生きるお作法」とご指導いただきました。

地域・学校・保護者そして中学生・大学生が一緒になって話合ったワークショップは、貴重で、充実したものでした。



ムダの有用性

防災は、もしかしたら一生使わないかもしれない。でも、ムダだと思うことも、いざという時のために備えておくことが必要。

参加者の感想より

【地域】

- ・様々な年齢の人が集い、防災について話し合うこと自体が素晴らしい。地域だけでは、どうしても一部の者の意見になりがちなので、幅広い視点が必要だと改めて気付かされた。
- ・内容が充実していて、すごく感心した。地域の一人として何かに役立ちたい。

【保護者】

- ・逃げる経路に、車の渋滞や古い家の倒壊などは、自分の意識になかったので、とても参考になった。
- ・分かってはいるけれど、なかなか取り組めていない防災について考えるきっかけになった。

【中学生・大学生】

- ・防災が自分の命を守るのに、どれ位大切な事なのかが分かった。災害のことを軽くみてはいけないとも思った。
- ・家の人と集まる場所を決めたり、避難経路を確認したりしようと思った。

【教職員】

- ・100%の防災は難しいし、これが正解とは決めきれない、だからこそ、こういう機会が必要だと思う。地域の方と話し合えたことがとても良かった。
- ・防災教育の観点での学習は、今の所ほとんどないので、再整理してよりしま学の充実を図りたい。
- ・防災について、小・中学生から地域・保護者に発信していくことができればよい啓発になる。



おいしま！みつげ隊企画「キャンプ」

7月30・31日に、「もやいの広場」にテントを張り、キャンプをしました。地域や高校生のサポーターの方に見守られながら、小学生・中学生が力を合わせてカレー作りやテント張りをしたり、キャンプファイヤーを行ったりしました。中学生のリーダーシップが見事でした！！



「みんなのもやい広場」が人と人を繋ぐ場所になりますように・・・